

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－基本配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書

(校園コード 721642)

※校園コードを入力してください。

取組に対する評価状況

学校名 南港桜小学校

学校関係者による評価実施済

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 1,600,000 円 → 決算額 1,599,626 円

2 配付上限額

学校配当	学級数	特別支援学級数	学級配当
350,000	+ 18学級	+ 7学級	× 50,000

※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。

配付上限額	= 1,600,000
-------	---

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

<全市共通目標>

①令和元年度の小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

<学校の年度目標>

②令和元年度末の教育アンケートにおいて、「授業はよくわかる」の子どもの「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を85%以上にする。

③令和元年度末の教育アンケートにおいて、「自分で考えて、自分から動くことができている」の子どもの「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を85%以上にする。

目標に対する達成状況(取組完了時)

①令和元年度の小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が前年度85.6から今年度70.6と増加した。

②令和元年度末の教育アンケートにおいて、「授業はよくわかる」の子どもの「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合が93%となった。

③令和元年度末の教育アンケートにおいて、「自分で考えて、自分から動くことができている」の子どもの「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合90%となった。

達成

B

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

①授業を「教える」から「学ぶ（促す）」に変革していくために、「子どもが学ぶ・子ども同士が学び合う」の授業に取り組む。

②学年に応じた「体験活動」を通じて、「学びに向かう力」の育成を図る。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

①「学び合い」のスペシャル講師（東京大学の小国教授）を年4回招聘した授業研究ならびにみんなでつくる研究体制（一人一授業公開）の充実を図る。

②教育アンケートにおいて、「学校の授業などで、学級の友達との間で、話し合う活動をよく行っている」の肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

③教育アンケートにおいて、「授業はよくわかる」の肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

達成

B

指標に対する達成状況(取組完了時)

①「学び合い」のスペシャル講師（東京大学の小国教授）を年3回招聘した授業研究ならびにみんなでつくる研究体制（一人一授業公開）の充実を図ることができた。

②教育アンケートにおいて、「学校の授業などで、学級の友達との間で、話し合う活動をよく行っている」の肯定的な回答をする割合が96%となった。

③教育アンケートにおいて、「授業はよくわかる」の肯定的な回答をする割合が93%となった。

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

「子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組」においては、引き続き「学び合い」の授業づくりについて研修や実践を深める。講師としては小国教授（東京大学）に継続して指導を仰ぎながら、「学び合い」の実践に向けて、互いの授業を交流できた。「学び合い」を通して、「しんどい子に寄り添った授業づくり」や「主体的・対話的な深い学びの実現」に向けて研鑽できた。「自分で考えて、自分から動く」ことができる子どもの育成をさらに深めていく。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1) 取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ・「子どもが学ぶ・子ども同士が学び合う」授業実践の研究		委員会使用欄	達成 B
①予算内訳			
8-1 ICT支援 講師謝礼金（助手相当） @4,300×210時間=903000+交通費39200=942,200円 保健指導 講師謝礼金（准教授相当） @6,200× 5時間 = 31,000円 学び合い 講師謝礼金（大学教授） @7,100× 24時間 =170,400円 合計1,143,600円			
②決算内訳			
8-1 ICT支援 講師謝礼金（助手相当） @4,300×210時間=903000+交通費39200=942,200円 保健指導 講師謝礼金（准教授相当） @6,200× 5時間 = 31,000円 11-1 指導書 310,200円 PPC用紙（A4） @2,365×3箱 = 7,095円 PPC用紙（B4） @3,520×3箱 = 10,560円 合計1,301,055円			
(2) 取組内容【施策番号 施策名】 【施策3 地域に開かれた学校づくり】 校内体験学習の実施		委員会使用欄	達成 B
①予算内訳			
8-1 3年昔あそび体験（助手相当） @4,300×1時間= 4,300円 11-1 3年昔あそび体験（材料費） 20,500円 合計24,800円			
②決算内訳			
8-1 3年昔あそび体験（助手相当） @4,300×1時間= 4,300円 11-1 3年昔あそび体験（材料費） 13,826円 2年ダンス体験 @165×101個=16,665円 14-1 6年琴体験 20,000円 合計54,791円			
(3) 取組内容【施策番号 施策名】 【施策3 地域に開かれた学校づくり】 校外体験学習の実施		委員会使用欄	達成 B
①予算内訳			
12-1 2年住之江公園車庫見学交通費 児童@280× 99=27,720円 引率@560×5=2,800円 =30,520円 3年環状線 交通費 児童@296×122=36,112円 引率@592×8=4,736円 =40,848円 4年下水処理場 交通費 児童@192× 94=18,048円 引率@384×5=1,920円 =19,968円 4年大阪市立科学館 交通費 児童@224× 94=21,056円 引率@448×5=2,240円 =23,296円 5年ハグミュージアム 交通費 児童@224× 98=21,952円 引率@504×5=2,520円 =24,472円 6年歴史博物館 交通費 児童@336× 96=32,256円 引率@672×5=3,360円 =35,616円 14-1 3年阿倍野ハルカス展望台 入場料 児童@360×122=43,920円 4年プラネタリウム 入場料 児童@280× 99=23,760円 5年ハグミュージアム 入場料 児童@280× 99=39,200円 合計281,600円			
②決算内訳			
11-1 5年ハグミュージアム 材料費 児童@400× 96=38,400円 12-1 3年環状線 交通費 児童@302×119=34,132円 下見・引率 6,378円 =40,510円 4年住之江消防署 交通費 児童@192× 87=16,704円 下見・引率 1,756円 =18,460円 4年大阪市立科学館 交通費 児童@224× 89=19,936円 下見・引率 4,464円 =24,400円 5年ハグミュージアム 交通費 児童@224× 94=21,056円 下見・引率 2,844円 =23,900円 6年歴史博物館 交通費 児童@300× 92=27,600円 下見・引率 5,140円 =32,740円 14-1 3年阿倍野ハルカス展望台 入場料 児童@360×119=42,810円 4年プラネタリウム 入場料 児童@240× 94=22,560円 合計243,780円			

(4) 取組内容【施策番号 施策名】 【施策2 道徳心・社会性の育成】 ・芸術鑑賞の実施		委員会使用欄	達成 D
①予算内訳			
13-0 公演委託料（観劇） 150,000円			
②決算内訳			
実施せず。			

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。

委員会使用欄は空欄としてください。